

三鷹駅南口駅前広場交通対策について

(三鷹駅南口バス降車場整備)

三鷹駅南口駅前広場は多くのバス路線が運行しており、特に朝や夕方の時間帯など、路線バスの進入が多い時間帯においては、降車の際にバスが二重降車となることが多く、安全性や法規上課題となっていることから、市道第781号線沿いのJR東日本が管理している駐輪場部分を改修しバス降車場2バースを新設する。

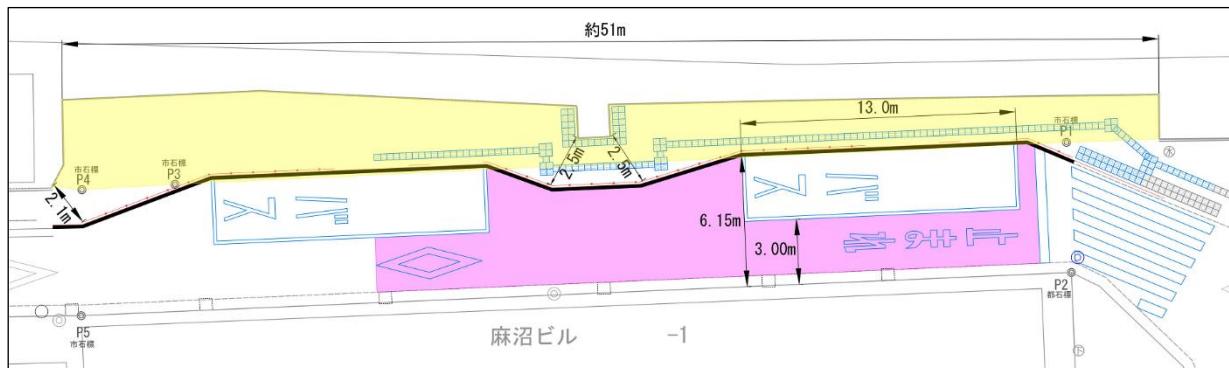
降車場整備に向けては、警視庁本庁と概ね協議が調い、三鷹警察署と最終的な調整も行った。また、JR東日本とは、JR東日本施工の工事や賃貸借範囲について概ね協議が調った。

1 整備場所及び整備スケジュール（予定）



令和6年5月～	JR東日本による電気設備等工事
9月	JR東日本と土地の賃貸借契約締結
10月～	降車場等整備
令和7年4月	降車場の運用開始

2 計画平面図



- 施工箇所：市道781号線沿い
- 整備面積：約190m²

3 整備内容

- (1) JR東日本の駐輪場跡地を歩行空間とし、現在の歩道部分に降車場2バースを整備する。
- (2) 警視庁協議により、①歩行空間は2m以上確保し、②車道はバス降車中に後続のバスが追い抜ける線形とする。